



# 岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和2年2月14日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2020年第6週

(2/3~2/9)

1月報合併号

○ インフルエンザの患者報告数は、県全体で定点当たり 6.22 人と減少し、すべての保健所管内で定点当たり 10 人を下回ったことから、2月13日、県内に発令されていたインフルエンザ警報は解除されました。

→トピックス

○ 伝染性紅斑は、患者の報告が続いています。

## ■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

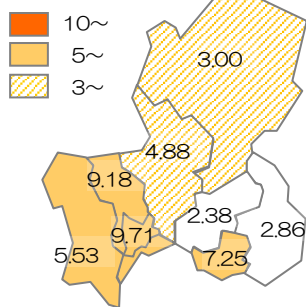
レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—	
注意報レベル	なし	—	

※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。

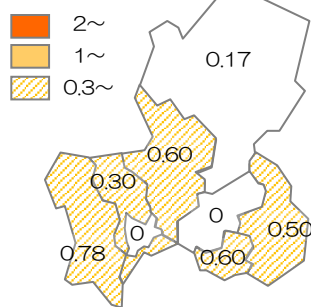
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

### ● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

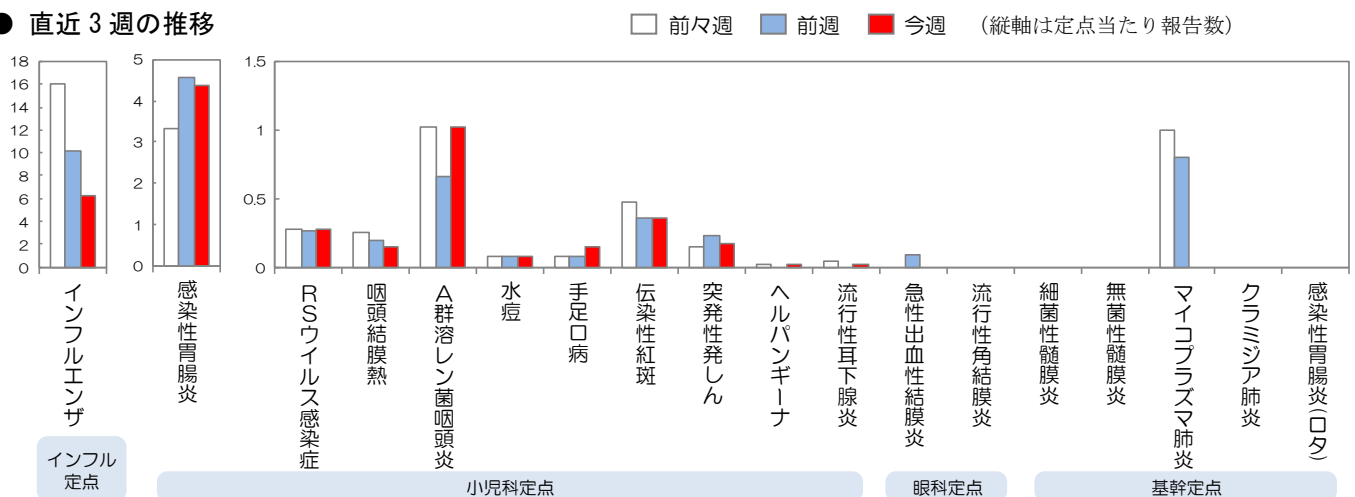
#### <インフルエンザ>



#### <伝染性紅斑>



### ● 直近3週の推移



## ■ 全数把握対象疾患の発生動向

### ● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 7 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：急性弛緩性麻痺 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 2 例、侵襲性肺炎球菌感染 1 例、梅毒 1 例、百日咳 5 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

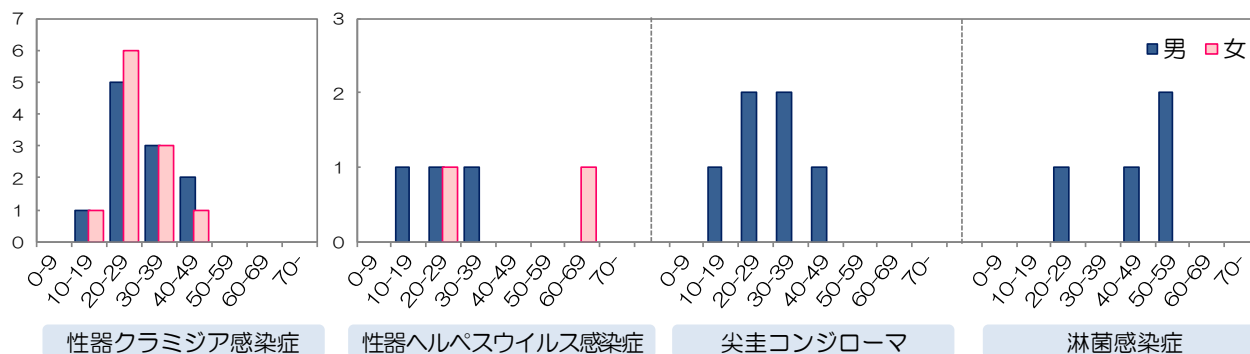
感染症発生動向調査週報（IDWR） <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

## ■ 月報告定点把握対象疾患の発生動向 <1月>

### ● 性感染症報告数（STD定点：15か所）

疾患名	1月	男			女		
		1月	12月	11月	1月	12月	11月
性器クラミジア感染症	22	11	8	10	11	7	7
性器ヘルペスウイルス感染症	5	3	2	2	2	-	1
尖圭コンジローマ	6	6	7	8	-	-	2
淋菌感染症	4	4	2	3	-	-	-

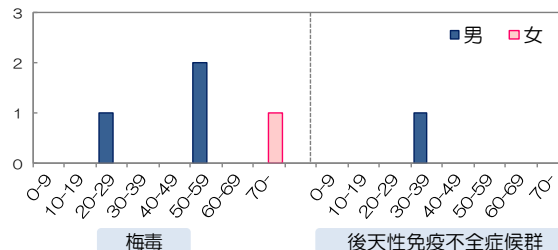
### <性・年齢階級別報告数（2020年1月）>



### （参考）全数把握対象の性感染症 報告数

疾患名	2020年 1月	性	
		男	女
梅毒	4	3	1
後天性免疫不全症候群	1	1	-

### 性・年齢階級別報告数（1月）



### ● 薬剤耐性菌感染症報告数（基幹定点：5か所）

疾患名	1月	12月	11月	10月	9月	8月
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	18	12	13	18	11	18
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	3	5	6	-	3
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-

## ■ 病原体検出情報

### ● 医療機関から提出された検体の病原体検出状況（1月採取分、2月9日現在結果判明分）

臨床診断名	病原体名（遺伝子検出を含む）	検出数
インフルエンザ	インフルエンザウイルス AH1pdm09	17
	インフルエンザウイルス B型	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264型	1
E型肝炎	E型肝炎ウイルス	1
麻疹	風しんウイルス	1

※病原体検出情報の詳細についてはHPをご覧ください（毎週更新）。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/byougentai.html>

## ■ トピックス

### ● インフルエンザ

#### ◇ 県内のインフルエンザ警報は解除されました

県内のインフルエンザ定点医療機関からの第6週のインフルエンザ患者報告数は、定点あたり6.22人と減少しています(図1)。

保健所別の患者報告数もすべて定点あたり10人を下回ったことから、県内に発令されていたインフルエンザ警報が解除されました(2月13日)。

減少傾向にはあるものの、現在も患者の報告は続いていますので、今後もしばらくは動向に注意し、引き続き手洗いや咳エチケットなどの対策が必要です。

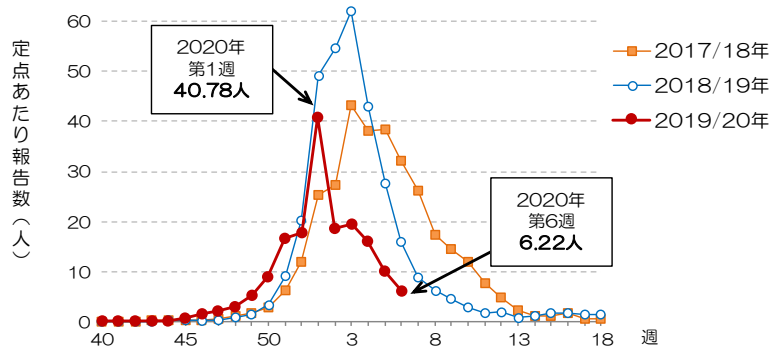


図1 インフルエンザ患者報告数推移(岐阜県:87定点)

#### ◇ 今シーズンの県内流行動向

今シーズン、県内では2019年第46週(11/11~11/17)に、患者報告数が流行入りの目安とされる定点あたり1人を超えました。流行入り後、患者報告数は週ごとに増加し、2020年第1週(12/30~1/5)に今シーズンのピークとなる定点あたり40.78人となりました。しかし翌第2週(1/6~1/12)には患者報告数は半数程度に減少し、その後は減少傾向をたどっています(図1)。

今シーズンは例年と比べて、流行入りの時期が早かったこと、現時点で年明け以降の患者報告数が少ないことが特徴としてみられています。

岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスによる迅速診断キットA・B型別の患者報告状況をみると、今シーズン第36週~第6週(9/2~2/9)に報告された患者(臨床診断例を除く)のうちA型が97%、B型が3%となっています。シーズン初めから現在にかけてA型が主流となっていますが、第5週(1/27~2/2)ごろからB型の割合が若干増加しています。

また、今シーズン、県内で2月9日までに58人の患者からインフルエンザウイルスを検出しており、型・亜型別はAH1pdm09が53人(91%)、B型が5人(9%)となっています。シーズン初めから第3週(1/13~1/19)まではAH1pdm09のみ検出されていましたが、第4週(1/20~1/26)以降、B型が検出されています(図2)。

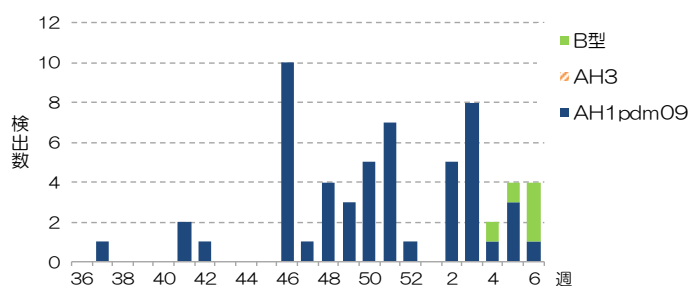


図2 インフルエンザウイルス検出状況(岐阜県 n=58)

#### ○ 感染症法における取扱い

インフルエンザは、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約5,000か所(岐阜県87か所)のインフルエンザ定点から毎週報告がなされています。

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>